

教科別研修講座報告

平成 30 年 8 月 1 日 (水)

C101 小学校社会科研修講座

「子どもの追究力を高める学習問題&話し合い活動」

講師 筑波大学附属小学校教諭 由井 蘭 健 氏

〈内容の詳細〉

1 SASA の活用について (報告)

- ・SASA2017から明らかになった課題を2つ報告。
- ・課題解決のための授業改善策を2つ紹介。

2 児童が追究したくなる学習問題を成立させる指導の視点と方法(講義・演習)

- ・講師が教員、研修者が児童となり模擬授業を通して、子どもの思考をゆさぶる発問等の数々の授業のワザを体験。
- ・模擬授業の後、5つの観点から子どもを夢中にさせる教材づくりについて考察。

3 話し合いが深まる授業づくり(講義・演習)

- ・2と同様に、模擬授業を通して、話し合いを深める教具や発問等を体験した後、話し合いが深まるための6つの手立てについて考察。

4 研修の振り返り(グループ協議)

- ・今回の研修講座についてグループ内で意見交換後、質問や感想に対して講師からの御助言。
- ・グループ内での意見交換や講師の助言を参考に、最後に個人で今日の研修をアウトプット。



〈受講者の声〉

- ・社会科の授業において、学習問題がどれだけ重要であるか実感しました。子どもだけでなく、教師自身も汗をかかなくてはいけないのだと思いました。「その子ならではの考え」をもつことができるような、授業づくり、学級づくりをしていきたいです。
- ・社会科の授業だけでなく、どの教科でも使える発問や指導法について解説していただき大変参考になりました。実際に45分模擬授業を受けることで、実感できたことがたくさんありました。

・初めて高学年を担当することになり、どのように社会科の授業を進めていくといいか学びたいと思って受講しましたが、1学期の自分の授業を反省し、できることからぜひ取り組んでいきたいと強く思うことができました。

・教科書や地図帳の使い方、導入の工夫などすぐに実践できそうなものが多かったです。自分自身の考えを確実にもたせることがいかに大切かも理解できました。

・「情意を認める授業が学級の雰囲気をつくる」という言葉が1番印象に残りました。教師主導になりがちなので、子どもの意見を大切にしたい授業ができるように心がけたいです。

